

景気動向指数  
平成 25 年 9 月分（速報）の概要

9月のC I（速報値・平成22年=100）は、先行指数：109.5、一致指数：108.2、遅行指数：115.1となった。（注）

先行指数は、前月と比較して2.7ポイント上昇し、2ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.74ポイント上昇し、3ヶ月振りの上昇、7ヶ月後方移動平均は0.55ポイント上昇し、9ヶ月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して0.6ポイント上昇し、2ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.53ポイント上昇し、10ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.60ポイント上昇し、8ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して0.7ポイント上昇し、7ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は1.03ポイント上昇し、8ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は1.00ポイント上昇し、12ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。

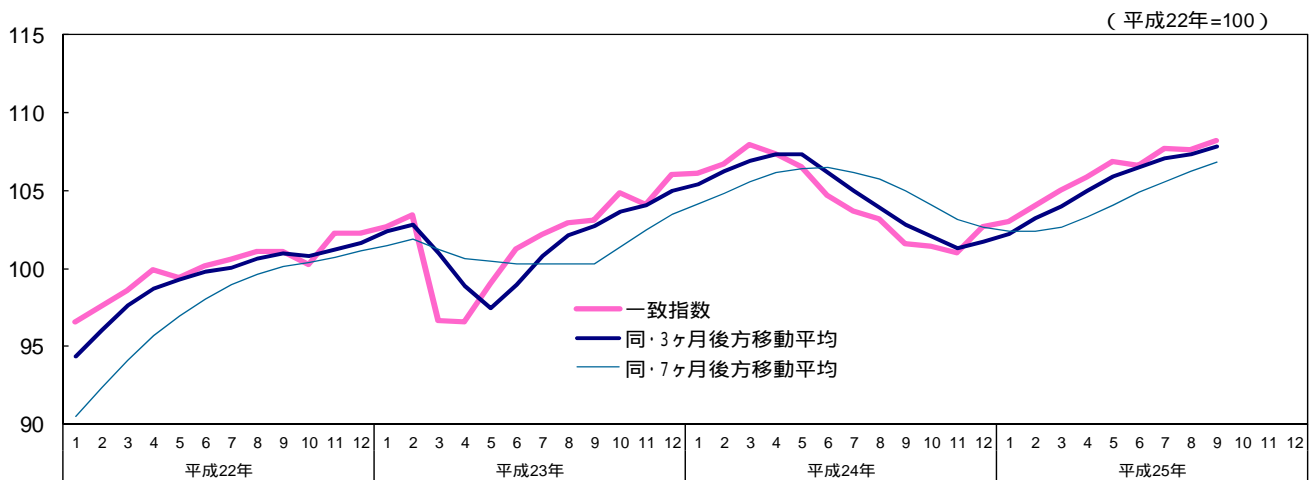
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C4：耐久消費財出荷指数	0.28	C3：大口電力使用量	-0.24
C1：生産指数（鉱工業）	0.19	C5：所定外労働時間指数（調査産業計）	-0.17
C7：商業販売額（小売業）（前年同月比）	0.17	C11：有効求人倍率（除学卒）	-0.03
C10：中小企業出荷指数（製造業）	0.16	C6：投資財出荷指数（除輸送機械）	-0.01
C2：鉱工業生産財出荷指数	0.14		
C8：商業販売額（卸売業）（前年同月比）	0.12		
C9：営業利益（全産業）	0.02		

「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）現時点で得られる値のみで求めた。